

グリーン一家、イギリスへ行く

<P1>

ブック2で私たちは次郎とともにアメリカを訪れました。ブック3ではグリーン博士と彼の家族とともにイギリスを訪ねます。短いひと夏の訪問ですが、私たちには丸一年かかる多忙なものとなるでしょう。

私たちは、ロンドンやその他イギリスの各地において、興味深い場所をたくさん尋ねる予定です。さまざまな世紀の有名人に会うことになるでしょう。途中で、ニュージーランドやインド、ケニアについても読むことになります。多くのことを学ぶ予定であり、一年の終わりまでには、世界でもっとも偉大なる作家の一人、シェイクスピアの有名な言葉さえもいくつか読めるようになるでしょう。

「プログレス」で私たちに助力してくれたすばらしいイギリス人女性に感謝して、このブック3を何年も前に書かれた詩で始めたいと思います。彼女は日本を愛し、長年ここ日本で英語を教えてきましたが、けっして自分の故郷、イギリスの美しさを忘れませんでした。

My England

イギリスにいられたら
いまこうしてやってきた春の日に！
再び故郷イギリスに帰れたら
庭が真っ盛りのこの季節に！
イギリスに帰りたい
咲き誇る花々が見たい！
鳥のさえずりが聞けたらば わたしのイギリス、
わたしの故郷 想いはるかなる！

<P2>

Lesson1

Scenel

私たちも行っているの？

メアリとトムがテレビを見ていると、グリーン博士が帰って来ます。

グリーン：お前たち、少しの間テレビを消しなさい。いいニュースがあるんだ。

メアリ：どうしたの？ かなりウキウキしているみたいだけど。

グリーン：うん、そうなんだ。来月ロンドンの会議に出席することになったんだ。

メアリ：すごいじゃない。私たちも行っているの？

グリーン：もちろん。こういったチャンスは最大限利用しなくちゃ。

メアリ：わー、"陽気なイギリス"での夏休みね。

Look

- (1) ホテルにチェックインするにはまだ早すぎる。
- (2) よろしい。みんな、本をしまつて。ーもうしまいました。
- (3) どこに行っていたの？ ずっと探していたんだよ。
- (4) 私たちは、あなたに再びお会いするのを本当に楽しみにしています。
- (5) もう近所の人たちとは仲良くなりましたか？

<P3>

Speak

1, ヒントを使って同じ内容になるように、別の言葉で言い換えなさい

- ① Dr. Green is going to take part in a conference.
- ② Tom and Mary always stay with their grandparents during vacation.

- ③ Now they're looking forward to seeing England.
- ④ Who's going to take care of the Green's house while they're gone?
- ⑤ When are they going to come back to New York?
- ⑥ Tom will have to give up baseball for two weeks.
- ⑦ Tom and Mary want to make friends with some British kids.

2, 空欄を埋めなさい

(1)at (2)Excuse (3) help (4)too (5)up (6)for

3, シーン1を練習しなさい

<P4>

Scene2

去年お父さんがここに夕食に招待した夫婦みたいに？

グリーン博士は同じ会議に出席する予定のロンドンの幾人かの人を知っています。
ある夫婦が自分たちの所に泊まるようにグリーン家を招待してくれました。

グリーン：私が知っているロンドンのある人が、喜んで私たちが泊めてくれると言ってくれているんだ。

トム：去年、お父さんがここに夕食に招待した夫婦みたいに？

グリーン：そう。ジェームズとジュディ・ジャクソン夫妻だ。

トム：彼らには僕たちくらいの年齢の子供はいないの？

グリーン：メアリより1つ年上の息子さんとお前と同年くらいの娘さんがいるよ。

トム：彼らが僕たちを案内してくれるといいなあ。

Look

- 1, 私が昨日会った女性は、私の父を知っている。
私が先生の机の上で見た本は、私のものようだった。
- 2, 昨日私に話しかけてきた女性は私の父を知っている。
先生の机の上にあった本は、私のものようだった。
私たちのお医者さんは、私たちみんなとても好きなのだが、来月引退する予定だ。
ロンドン、それはヨーロッパの主要な首都で、とても国際的な都市だ。

<P5>

Speak

4, 聞いて繰り返しなさい。

- ① The man I met yesterday was Mark Clark, who's a pilot.
- ② The woman I met yesterday was Claire Blair, who's an accountant.
- ③ The man I met yesterday was David Davis, who's a journalist.
- ④ The man I met yesterday was Bill Hill, who's a bank clerk.
- ⑤ The woman I met yesterday was Anne Mann, who's an art critic.
- ⑥ The man I met yesterday was Paul Hall, who's a city employee.

5, 文をつなげなさい

- ① George Gershwin, whom all musicians know, wrote "Rhapsody in Blue".
- ② London, which the Greens are going to see this summer, is a major European capital.
- ③ The Jacksons have a son who's a year older than Mary.
- ④ The Jacksons' son, who's a year older than Mary, will be able to show Tom around.
- ⑤ The couple (whom) they invited to dinner last year was from London.
- ⑥ Mary found the book (which) Tom had been looking for it.

6, シーン2を練習しなさい

Read

1つの言語？

<P6>

トムはいま4年制のアメリカの高校1年生です。彼は担任で、社会科の先生でもあるマーフィー先生と話しているところです。彼は、この夏家族旅行でイギリスに行くことを先生に話しました。マーフィー先生はいまアメリカ英語とイギリス英語の若干の相違についてトムに話しています。

トム：僕は本当にこの旅行を楽しみにしているんです。

マーフィー：きっとそうだと思うわ！ たぶんあなたはイギリスに出発する前にイギリスの歴史や文学に関する簡単な本に何冊か目を通したほうがいいわね。知っていると思うけど、私たちはイギリスと深い文化的な結びつきがあるのよ。

トム：はい。新しい言葉を覚えなくていいのでうれしいです。友達の次郎は去年ここで大変でしたから。

マーフィー：アメリカとイギリスは同じ言語によって"結び付けられた"というより、むしろ"分けられた"2つの国だって言う人もいるわ。

トム：イギリスの映画を観ると、いつも発音の違いにびっくりします。イギリス英語はほとんど違う言語のように聞こえるんです。

<P7>

マーフィー：その通りね。実際、イギリス人が "That's for sure." って言うと、最後の"r"がない "That's for shore."って言っているみたいに聞こえるのよ。ある日、有名なアイルランドの作家ジョージ・バーナードショウが、"Are you sure?" (確かですか?) と聞かれて、"Yes, I'm shaw. George Bernard Shaw." (はい、ショウです。ジョージ・バーナードショウです) と答えたんですって。

トム：そいつは珍妙だ！

マーフィー：それに発音だけじゃないの。いくつかの言葉は綴りも違うのよ。イギリスでは、metre(メートル),litre(リットル),centre(中心),theatre(劇場)の語末には re と綴るし、colour(色),neighbour(隣人)の語末には our と綴るのよ。同じものに対して違う言葉を使うことさえあるわ。— elevator(エレベーター)に対して lift, apartment(アパート)に対して flat, gasoline(ガソリン)に対して petrol, French fries(フライドポテト)に対して chips みたいにね。

トム：へえ、chips ってポテトチップスのことじゃないってわけだ。

マーフィー：そのとおり。そして停電(an electrical power failure)の間 (イギリスでは a power cut というが)、イギリス人は torches(英:懐中電灯、米:たいまつ)を使って家の周りの道を探すのよ。

トム：彼らが火事が起きる危険を冒してるってことじゃないよね。

マーフィー：ええ、イギリスの torch というのはメラメラ燃えているオリンピックのトーチのことじゃない。イギリスでは、トーチといたら、懐中電灯のことよ。

<P8>

Scene3

彼らはジャクソンおばあさんのところに滞在する予定です。チェルシーの彼女の大きな家は会議場から遠くないところにあります。グリーン一家はジェームズ・ジャクソンのお母さんのところに滞在する予定です。チェルシーにある彼女の大きな家は会議場から遠くないところにあります。

グリーン：ジェームズが彼のお母さんにチェルシーの彼女のところに我々を泊めてくれるように頼んでくれたんだ。

メアリ：私たちみんなが泊まるほどの部屋があるの？

グリーン：ああ大丈夫。彼女は広大な家を持っていて朝食付き貸室用の空き部屋がたくさんあるんだ。

メアリ：朝食付き貸室？

グリーン：その通り。彼女は我々のために、部屋を3つ空けてくれるらしい。

メアリ：あらずてき！ ワシントンのホワイトおばあさんのところに泊まるみたい。

Look

その子供（彼女の人形が壊れていた）は泣いている。
 その男性（彼のクルマは盗まれた）はそれを警察に報告した。
 トムとメアリはロンドンに行こうとしている。彼らの父は会議に出席する予定である。
 グリーナー家はジャクソンおばあさんのところに滞在する予定だ。彼女の家はチェルシーにある。

- 1, 人形が壊れてしまった子供は泣いている。
 クルマを盗まれてしまった男性はそれを警察に報告した。
- 2, トムとメアリは、父親が会議に出席するので、ロンドンに行く予定である。
 グリーナー家は、チェルシーにあるジャクソンおばあさんのところに滞在する予定だ。

<P9>

Speak

7, 聞いて繰り返しなさい

- ① I have a classmate whose father is a pilot.
- ② I have a classmate whose mother is an accountant.
- ③ I have a classmate whose father is a journalist.
- ④ I have a classmate whose father is a bank clerk.
- ⑤ I have a classmate whose mother is an art critic.
- ⑥ I have a classmate whose father is a city employee.

8, 文を変えなさい

- ① I bought a 400-page book on British history.
- ② Grandma Jackson has a big ten-room house in Chelsea.
- ③ "Gandhi" is a famous four-hour long movie.
- ④ Five-day workweeks have become quite common.
- ⑤ My dad works on the 41st floor of a 42-floor building.

9, シーン3を練習しなさい

Practice

who, whom, whose, which のうち適するものを空欄に入れなさい。必要ない場合は×を書きなさい。

- ①whose ②which ③× ④whom ⑤whose ⑥who ⑦which, ×

<P10>

Read

英語 — それはどこから来たのでしょうか？

英語は世界中で話されている重要な言語です。それはイギリス、アメリカ、カナダ、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランドの主要な言語です。アジアやアフリカの多くの国々でも話されています。今日、インターネットでも広く使われています。今日、世界中で使われている英語はもちろんイギリスから来ました。しかし、この国際的な言語のルールを見つけるために、私たちはどこを探したらよいのでしょうか。

ローマ人

2000年以上前の紀元前55年、ジュリアス・シーザーは彼の率いるローマ軍とともにイギリス海峡を渡ってやってきて、その島をブリテン(Britain)と名づけました。しかしながら、ガリア(現在のフランス)での問題のために、シーザーはヨーロッパ大陸に呼び戻されました。100年後の紀元後43年、ローマ帝国は再びブリテン島を侵略しました。今度は彼らはほぼ400年にわたり居座りました。彼らは頑丈な街やすばらしい道を造っただけでなく、そこに彼らの言語も残したのです。

ローマ人の言葉はラテン語でした。現在の英単語の大部分はラテン語にその起源があります。**pater** や **mater** は **father** や **mother** になり、言語を意味する **lingua** は **language** になりました。これらはほんの少しの例にすぎません。

アングロサクソン族

5 世紀、ローマ人が去った後、大陸から 2 つの強力なヨーロッパ勢力がブリテン島を侵略してきました。それはアングル族とサクソン族でした。彼らは北は現在のスコットランド、西は現在のウェールズまで進み続けました。彼らはほぼ全島を手中に収め、そこを **Angle-land**、すなわち **England** と呼びました。このようにしてブリテン島の人々はアングル族の言葉を話し始めたのです。言い換えれば、彼らは英語(**English**)を話し始めたのです。

<P11>

デーン族とバイキング

8 世紀末、イングランドは再び、今度は北から侵略されました。デンマークから来たデーン族とスカンジナビア地方から来たバイキングは、はるか南まで侵略し移動してきました。871 年、ウェストサクソン (ウェセックス) のアルフレッド王がこの侵攻を止め、デーン族からロンドンを解放しました。しかしながら、デーン族はブリテン島中央の東海岸沿いに留まりました。彼らもまた、言語において多くのデンマーク語の単語 **—sky, sister, window など—** を残しました。

その間に、アングル族とサクソン族はキリスト教徒になりました。ラテン語はヨーロッパの教会や学校において主要な言葉でした。よっていまやさらに多くのラテン語が英語の中に入ってきたのです。

ノルマン人

1066 年、イングランドは最後の侵略を受けました。ノルマンディーのウィリアム、彼は征服王ウィリアムと呼ばれていますが、そのウィリアムが強力な軍隊とともに、ブリテン島を侵略しました。フランス語がノルマン人の言語だったので、200 年間フランス語は貴族階級の言葉となりました。その間、農民と田舎の人々だけが英語を話し続けました。フランス人の領主のキッチンでアングロサクソン族のコックが豚肉(**pigs**)や牛肉(**caws**)羊の肉(**sheep**)を使って夕食の準備をしました。しかし、その食事が階上の食堂に運ばれると、それは **pork・beef・mutton**、つまりそれら動物に対するフランス語で呼ばれていました。多くのフランス語の単語もまたラテン語に由来しています。

<P12>

英語が国際的になる

イングランドが再び侵略されることはありませんでした。しかし、言語は発展し続けました。14 世紀のチョーサーや 17 世紀のシェイクスピアのような偉大な作家、その作品はいまや世界中のいろいろな言語で読まれています。彼らがその発展に手を貸してきました。17 世紀中、イングランドは世界中に植民地や市場の開拓に着手しました。その結果、英語はあらゆる大陸の人々によって使われ始めました。英語を話していた人々も世界中の他の言語からきた言葉を使い始めました。スペイン語からきた **tomato**(トマト),**tobaco**(タバコ),**mosquito**(蚊)や、アメリカ先住民の言語からきた **skunk**(スカンク),**squash**(カボチャ)、日本語からきた **judo**(柔道),**tunami**(津波),**karaoke**(カラオケ)などがそうです。このようにして英語は世界のもっとも豊かな言語のひとつとなったのです。

<P13>

Write

例(訳)

- ・私が一番好きなスポーツはバレーボールです。とても楽しいので私はバレーボールが好きです。
- ・私が一番好きな歌手は宇多田ヒカルです。彼女はすばらしい歌を作るし、歌もとても上手いので、宇多田ヒカルが好きです。

例 The teacher I like best is Mr. Tanaka. I like him because he is very kind to everyone.